

第2回 進路説明会



令和5年10月5日(木)

船橋市立葛飾中学校

説明会を始めるにあたって



進路選択



高校進学

自分の生き方を考えること・
決めていくこと

本日の流れ



【前半】

公立、私立の受験要項

【後半】

受験パターン・スケジュール

必要書類の説明

高校進学にかかる費用 P1~4参照



- 1 入学前にかかる費用
- 2 学費の目安
- 3 学費を援助する制度

1. 入学前にかかる費用 P1 参照

①受験料

②延納金（県内・都内）

③施設費・指定物品費

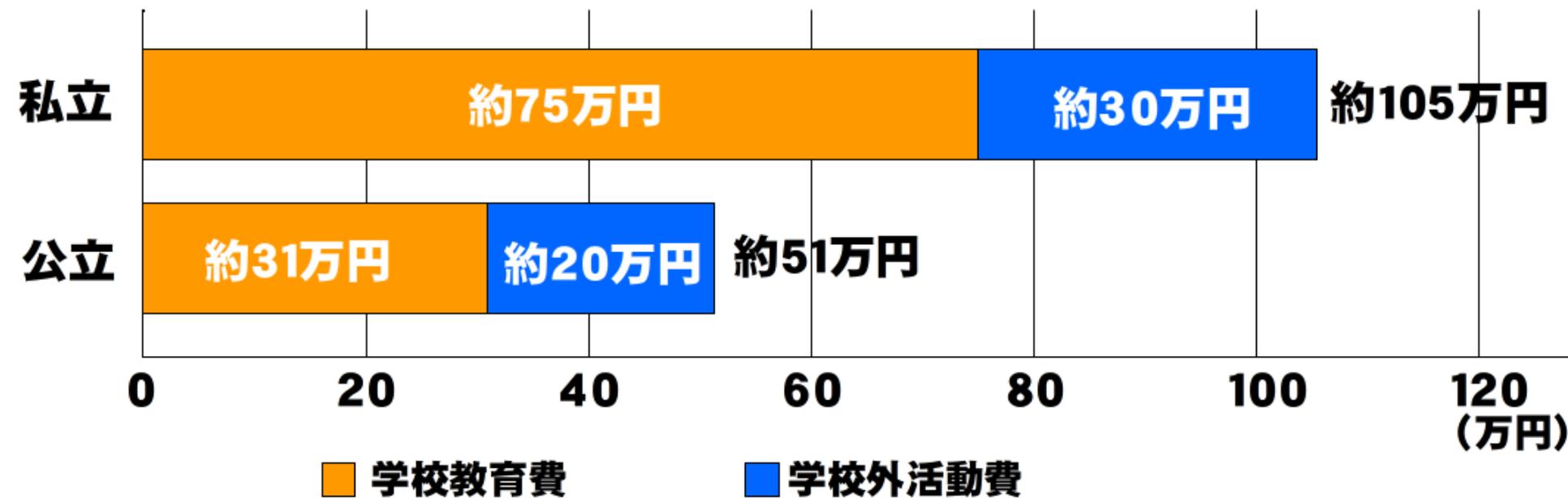
※①～③は募集要項で
確認できる高校多い。

2. 学費の目安

P2参照



グラフ1 高校1年間の学習費の目安

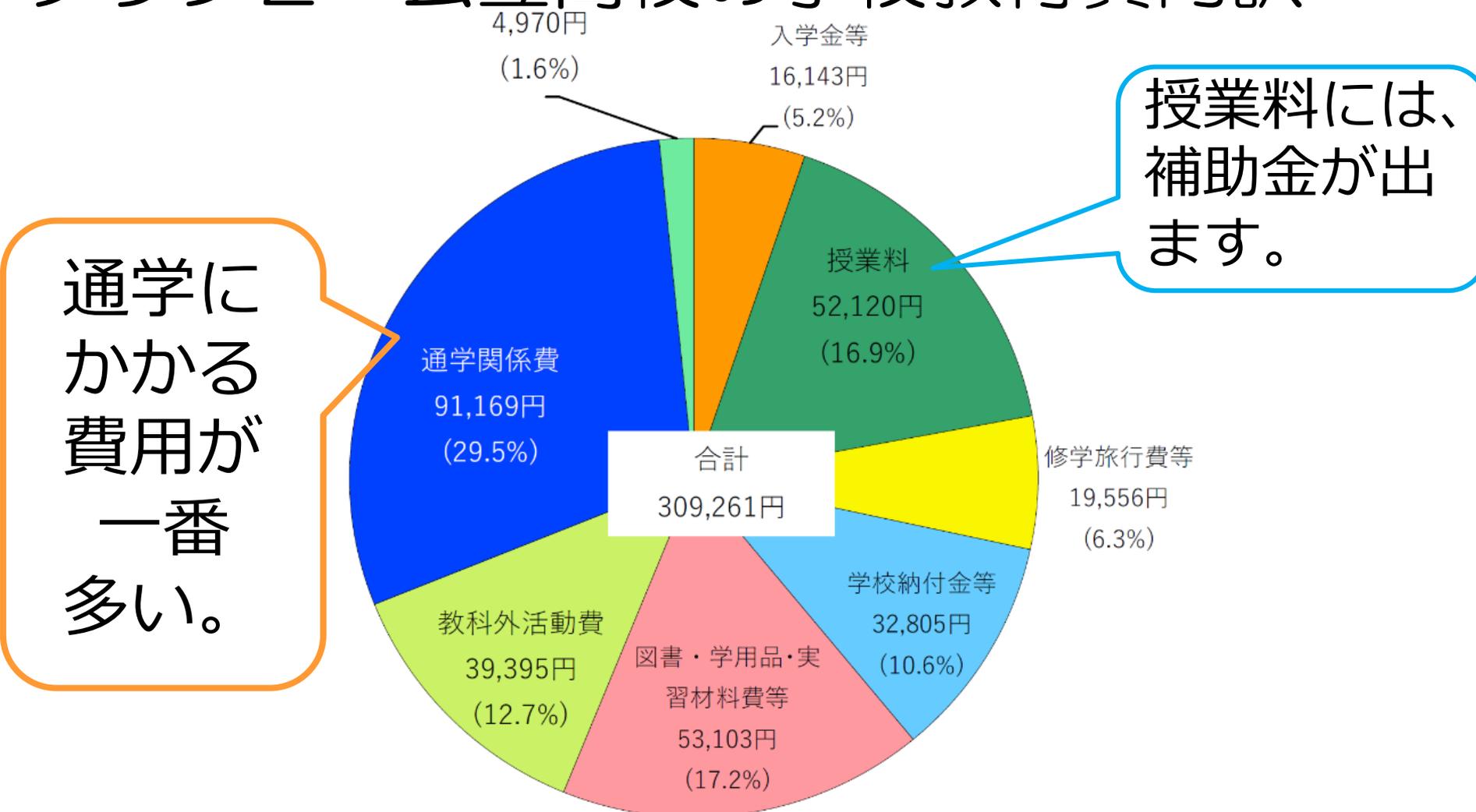


授業料や通学、
修学旅行など。
就学支援金の対象。

塾や家庭教師、参考書等
の費用。その他、自身の
習い事にかかる費用。

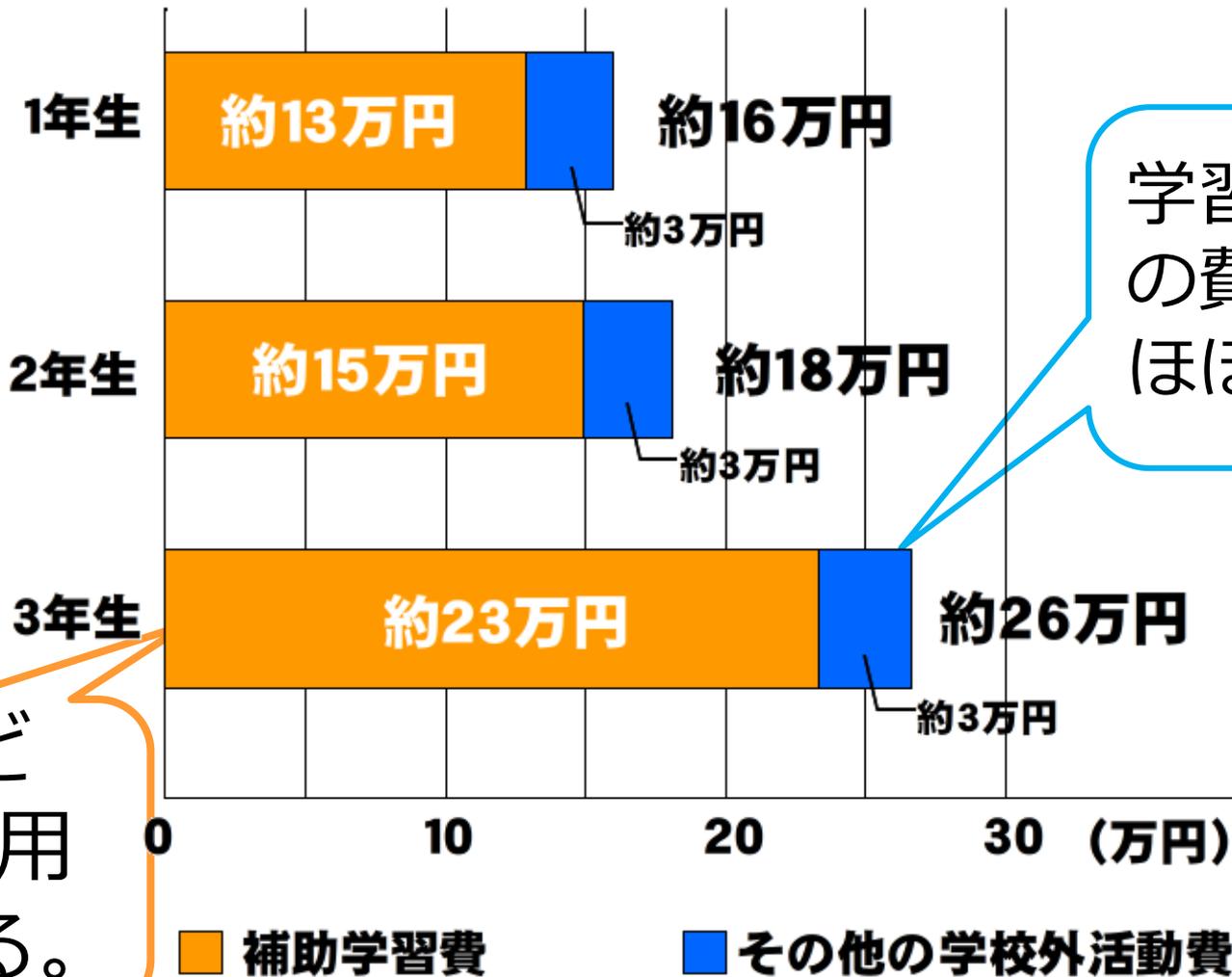
2. 学費の目安

グラフ2 公立高校の学校教育費内訳



2. 学費の目安

グラフ3 公立高校の校外学習費



学習以外の費用は
ほぼ一定。

塾など
年々費用
が増える。

3. 学費支援制度

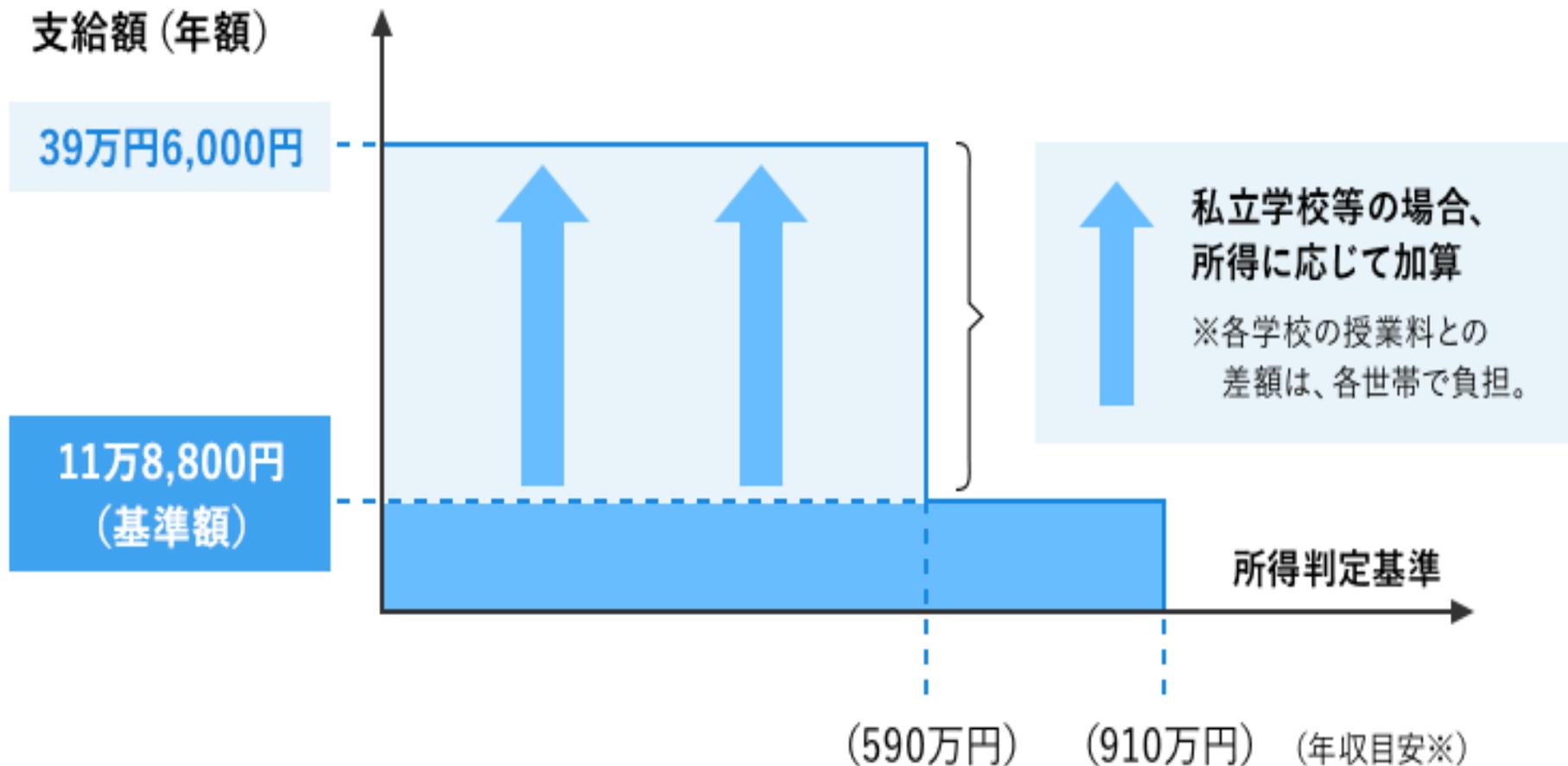
①就学支援金

国公立：年収910万円以下
で授業料実質無料

私立：年収590万円以下
で授業料39万6千
円まで支給。

3. 学費支援制度

グラフ4 全日制高校の支給額



3. 学費支援制度

P4参照



② 高校生等奨学給付金

家計の急変などによる場合の給付金制度。

公立・私立とも教育委員会の窓口で電話して相談。

3. 学費支援制度

P4参照



③千葉県奨学金【貸付】

国公立

月額1万or2万円

私立

月額1万or2万or3万円

※校内締切：10月20日(金)

3. 学費支援制度

P4参照



③ 船橋市奨学金【貸付】

入学準備金貸付

国公立:7万円、私立:20万円以内

※詳細は10月下旬

修学金貸付

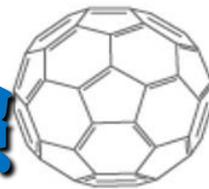
**県奨学金と
原則両方可能**

国公立:月額8万円以内、私立:月額1万5千円以内

公立高校受検の注意事項



- 県立高校に合格をしたたら、その県立高校に進学をする。
- 県立高校は1校1学科受検。
- 県立高校と国立高校や高等専門学校を受検は可能。



- 応募資格
- 定員の増減 (資料1)

若干の高校で定員減。

昨年定員割れした学校の
募集人員の総数はほぼ同数、
今年度の倍率は若干高め?



- ・期待する生徒像と2日目の検査内容(資料2)

高校にどのような生徒に来てほしいのか、アピールのチャンスです。

県立船橋高校・全日制普通科

次のア及びイの要件をともに満たす者

ア 本校への志望動機及び理由が明確であること。

イ 本校の教育目標に向かって努力し、その成果が期待できる資質を有すること。

「選抜・評価方法」

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 15
千葉県立幕張総合高等学校 全日制の課程 総合学科

1 期待する生徒像

本校を志願する理由が明確であり、学習や部活動等に積極的に取り組んだ実績を有し、本校においても継続して取り組むことのできる生徒。

さらに、現代社会に目を向け、自己成長に努め、的確な進路目標を定めて、主体的、かつ継続的に学ぶ熟意のある生徒。

また、自分の考えを発表できる能力を持ち、本校生徒として自信と誇りを持って、学校生活を続けることができる生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
自己表現	次の(7)、(4)のいずれかを、出願時に志願者が選択 (7) 口頭による自己表現及び発表に関する質疑 日本語による自己表現 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 (4) 実技による自己表現及び発表に関する質疑 実施形態：個人または複数人数で発表（実施実技により異なる） 次の実技のうち1つを選択 野球（男）・ラグビー（男）・ソフトボール（女）・卓球（男女）・陸上競技（男女）・サッカー（男女）・バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・水球（男女）・ハンドボール（男女）・柔道（男女）・スポーツクライミング（男女）・剣道（男女）・弓道（男女）・硬式テニス（男女）・合唱（男女）・書道（男女）・将棋（男女）・シンフォニックオーケストラ（男女） 検査時間：3分～60分（実施実技により異なる）
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

調査書の加算

学校設定検査
『自己表現』
の詳細

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査【500点満点】

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書【145点満点】

アの数値にエについて加算（上限10点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
エ 部活動の記録及び特記事項	千葉県教育委員会などが行う顕彰等（※）の受賞、別表にあげる種目等の活動実績について10点を上限として加算する。 ※「千葉県議会児童・生徒表彰」、千葉県教育委員会の「千葉県体育・スポーツ功労者等顕彰（優秀スポーツ選手）」・「教育奨励賞」
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（自己表現）【20点満点】

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき評価する。(7)については、a（優れている）・b（標準的である）の2段階で、(4)については、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）の3段階で評価する。

(7)については、aを3点、bを1点、(4)については、aを7点、bを2点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各10点満点）を合計し、得点化する。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(7) スピーチの能力	発表におけるスピーチの基礎的技術を身に付けている。表現力豊かに、わかりやすく発表を行うことができる。
(4) テーマ・内容	発表テーマの設定が適切である。発表内容が整理されており、まとまっている。発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(7) 基礎的技術	当該種目における基礎的な技術を身に付けている。
(4) 専門的技術	当該種目における専門的技術を身に付けている。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

(7) 受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の80パーセント

(4) 受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の80パーセント

<ア：総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	10点	20点	665点

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」に本校の定める係数 (k1=1、k2=5、k3=5、k4=1) を乗じて算出した得点を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<イ：総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
(k4=1)	評定 (K=1、k1=1)	加点 (k2=5)	自己表現 (k3=5)	
500点	135点	50点	100点	785点

※ k1：アの「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値」に乗じる係数

※ k2：アの「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数

※ k3：アの「学校設定検査の得点」に乗じる係数

※ k4：アの「学力検査の得点」に乗じる係数

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業生については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。

「2段階選抜」
の実施と詳細

令和6年度
「選抜・評価方法」
の公表は、
10月19日(木)以降
各校のウェブページで

公立選抜の概要



・スクールポリシー「入学者受入れに関する方針」

学校設定検査『作文』

県立船橋高校（全日制）

※昨年度

幅広い分野に興味・関心を持ち、入学後は文武両道を目指し各分野でトップを極めるため自立した学習者となる決意を持ち、互いの人格を尊重し切磋琢磨しようとする意欲的な生徒の受け入れを行う。

題「今後、予測困難な社会を生き抜いていくためには、どのような力が必要とされるか、あなたの考えを書きなさい。」



- Kの値（内申点の倍数）
- 学校設定検査の内容
思考力を問う問題、面接、
適性検査、自己表現、
作文、小論文
- 志願理由書（資料3）



①通学区域の規則に従う。

市立高校は受検制限あり。

市立千葉、市立稲毛

→普通科は受検×

市立銚子→全学科受検×

県立高校

市立高校



- 市立船橋 全学科可能
(28年度から普通科は他学区からも受検可能。)
- 市立習志野 全学科可能
- 市立柏 全学科可能
- 市立千葉 理数科のみ可能
- 市立稲毛 国際教養科のみ可能
- 市立松戸 全学科可能

県立通学区域

P5参照



全日制普通科



※千葉女子高校、木更津東高校、幕張総合高校、小金高校、他総合学科の課程には、志願に関する学区制限はありません。



専門学科・定時制・通信制

- 理数科、看護科、商業科、芸術科、総合学科、機械科、電気科、建築科、インテリア科、国際教養科 など
全日制専門教科を主とする学科（専門学科）は県内全域からの受検可能
- 定時制、通信制も県内全域から受検可能

県立高校 専門学科・定時制・通信制



- 千葉県立の高校を受検した場合、
→ 他県、都立の公立高校を受検×
- 同一高校の異なる学科については、
第2希望を申し出ることができる。

○ 千葉女子高校：第1希望普通科
第2希望家政科

× 第1希望：船橋高校理数科
第2希望：佐倉東高校調理国際科



①願書 → 原則、中学校で配付

押印 → 必要ありません

②検査料 → 県の収入証紙

2200円分

※市立高校注意

写真 → 希望制で学校撮影



③通知用封筒

→ 長形3号、84円切手

④調査書 → 学校で準備

⑤その他 → 受検校による。

志願理由書， 自己申告書
等



長形3号

A4サイズが3つ折りで入ります！

定形郵便最大サイズ

12×23.5(cm)

横長です！



県立出願 出願日

P7参照



2月6、7日（火・水）

午前9時～午後4時30分

※6日に出願させます

2月8日（木）

午前9時～正午まで

※ ※予備日

志願・希望変更

P7参照



○志願変更

別の学校に出願し直すこと

○希望変更

同じ学校で別の課程や学科
に出願し直すこと

※多くの書類が発生します。



出願終了→高校から受検票や
受理証をもらう。

○受検票→発表まで各自で保管

○受理証等→中学校に提出

検査について

P7参照



2月20・21日(火・水) 2日間

持ち物：受検票，時計，お弁当

1日目

学力検査（国・数・英）

国・数50分、英語60分

国語と英語には、聞き取り検査

検査について

P7参照



2日目 学力検査

(理・社、50分)

各高校の独自検査

10月19日(木)に各校
HP上で検査の詳細が公表。



- インフルエンザ等による急な発熱。別室受検も困難。
- 本検査を全部又は一部でも受検できなかった者

1日で5教科＋学校設定検査

県立高校 発表と手続き

P8参照



3月4日（月）

- 午前9時に各高校で掲示
- HP発表、郵送通知もあり

入学候補者→午前中中学校へ
不合格者

→午前中に私立手続き

午後中学校へ報告

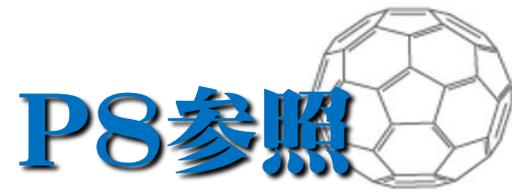
特別な選抜

P8参照



- ・地域連携アクティブスクール
受検科目が国数英の3科目であること以外は、一般入学者選抜と大きな違いはない。
- ・海外帰国生徒の特別入学者選抜
- ・外国人の特別入学者選抜
- ・中国等帰国生徒の特別入学者選抜
- ・成人の特別入学者選抜

選抜方法



選抜資料

- 1 学力検査の結果 (100点×5教科)
- 2 調査書学習評定 (135点満点×K値)
- 3 調査書各記録 (最大50点まで)
- 4 面接、作文、適性検査等の結果
(10~100点。
2つある場合最大150点)
- 5 志願理由書 (提出校は限定的)

1段階選抜方法

P9参照



検査結果の計算例 (K=1 ※0.5~2)

学力 検査	調査書 (内申)		各校独自検査		志願 理由書
	学習 評定	他各 記載	合計 点	内容→ 評価方法	
500	135	10	20	自己表現 20点満点	判定の 際の 参考資 料

665点満点で上位80%合格

2段階選抜方法

P9参照



残り 20% の選抜(第2段階)

第二段階では、学力検査と調査書の比重を変えるために、各学校の定めた係数を乗じて合否を決定する。

定員の2割は、学校の特徴を重視し、
検査内容の比重を変えて選抜する。

k 1～k 4の配点は学校ごとに異なる。

- 学力検査の結果 (500点) × k 4
- 調査書学習評定 (135点) × k 1
- 調査書各記載 (50点) × k 2
- 各校設定検査 (10～100点) × k 3

2段階選抜

P9参照



検査結果の計算例 (K1=1, K2=5, K3=3)

学力検査	調査書 (内申)		各校独自検査		志願理由書
	学習 評定	他各 記録	合計 点	内容→ 評価方法	
500 ×1 500	1 3 5 ×1 1 3 5	1 0 ×5 5 0	2 0 ×5 1 0 0	自己表現 20点満点	判定の 際の 参考資料

785点満点で上位20%合格

傾斜配点について

P10参照



理数に関する学科

外国語に関する学科

それぞれ数学理科や英語の得点を1.5倍にする。

例

県船理数科 数と理各150点満点

松戸国際国際教養科

英語 150点満点



応募資格

- ① 公立高校入学許可候補者になっていない生徒。
- ② 私立高校の入学候補者で、高等学校長から **2次募集** **受検の承認** を得ている生徒。

2次募集

P10参照



出願 3月7日 (木)

願書は志願校へ取りに行く

検査 3月12日 (火)

発表 3月14日 (木)

※卒業式 3月13日 (水)



検査方法

面接と各校指定課題

(集団討論・自己表現・作文・小論文・適性検査・独自問題から指定)

県HPに記載されます。

私立高校 入試制度

P11参照



1. 前期入試

県内1月中旬旬 都内1月下旬

- ①単願推薦制度
- ②併願推薦制度
- ③フリー受験
- ④第1希望優遇制度
- ⑤自己推薦制度

2. 後期試験

県内1月下旬 都内2月上旬

上記①～③の受験区分。



入学試験

一般入試

推薦入試

推薦受験(受験資格)

入試相談
(1校のみ)

両方とも、
中学校長から
の推薦。

私立高校 入試相談 P11参照



- 入試前に高校と合格の可能性を話し合うこと。(単願・併願推薦)
- 入試相談を通すと、当日の体調不調等での多少の失敗を、大目に見てもらえる。絶対合格ではない。
- 希望者は11月下旬まで志望校を決定。(入試相談を含めて、12月3日までには私立受験校決定)

私立高校 推薦制度の注意点



- 推薦決定後の取り消しはできません。
- 対象は中学校長に推薦された生徒です。
- 受付期間が決められています。
- 入試相談を利用できる高校は
1校です。1校目で受け付けて
もらえなかった場合、他の高校で
相談することは可能。

入試相談時の学習成績

前期	暁星国際、西武台千葉、千葉学芸、中山学園、日出学園、わせがく、浦和麗明、叡明、品川工トワール女子、品川翔英、淑徳SC、富士見丘、など。
通年	愛国学園大学附属四街道、市原中央、木更津総合、志学館、拓殖大学紅陵、千葉商科大学付属、千葉聖心、東海大学付属市原望洋、日本体育大学柏、八千代松陰、郁文館グローバル、神田女学園、北豊島、錦城学園、京華、駒込、駒澤大学、順天、正則、正則学園、青稜、中央学院大学中央、東洋大学京北、日本大学第一、朋優学院、など。

私立高校 入試制度

P12参照



①単願推薦制度

第1希望で、合格したら**必ず**入学する。

②併願推薦制度

第2、第3希望。第1希望が不合格なとき、その高校に入学する。

①②とも、推薦受験か入試相談かよく確認が必要。



①併願での相談の意味

ア：公立高校が第1希望で、本校が第2希望でなければならない。

イ：公私のどちらかが第1希望でもよいが、本校が第2希望でなければならない。

ウ：公立が第1希望であるならば、本校は第3希望以下でもよい。

エ：公私のどちらかが第1希望でもよく、本校は第3希望以下でもよい。



- ②併願での相談後、出願・受験が
不要になった場合の取り扱い
- ア：出願しなくてもよい
 - イ：出願まではしなければならない
（受験はしなくてもよい）
 - ウ：出願して受験しなければならない
 - エ：出願・受験をし、延納手続きまで
しなければならない

私立高校延納金

P13参照



併願私立では、
合格後、延納手続きが必要。
延納金（1万～5万円）

都内は延納金のない学校が多い。
逆に、入学金は高い傾向。



③フリー受験

入試相談なし。試験と調査書で判定。

④第1希望優遇制度

第1希望であることを申告すると合格基準点が下がる。

⑤自己推薦制度(C推薦)

一般入試に近い。入試相談とは別の基準や高校が事前の勉強会を開催するなどし、入試に配慮してくれる制度。



推薦制度の基準例

単願 9科内申合計36以上、3教科10など

併願 9科内申合計38以上、5教科15など

欠席は1年間10日以内 など

※これらの情報は各高校の募集要項で公開されます

- 3年間の評定
- 3年生の評定
- 欠席日数
- 英検漢検などの結果
- 委員会活動
- 部活動の実績 など

私立高校 推薦制度の注意点



○基準値のみで学校を決定しないでください

通う可能性のある学校です
必ず学校説明会・見学会に参加してください

○合格を必ず保証するものではありません



○出願方法

→インターネット、郵送、持参等

※説明会に参加してIDをもらう。

○受験日

同じ高校でも、コースによって入試日が違う。いつ・どのコースを受けるのか。



○発表

インターネット上がほとんど。

○手続き

→ 期日を確認（延納金に注意）

（意図的に払わない場合は

受けない。）



ポイント

- 公立私立どちらを第一希望とするか
- 併願の学校をどのように選択するか
- 推薦制度を利用するか

受験パターン

P16参照



- ① 第1希望 公立
第2希望 私立(併願推薦)
- ② 第1希望 公立
第2希望 私立(フリー-受験)
第3希望 私立(併願推用)

※併願推薦は第2希望迄との制限がある高校有



③第1希望 公立

第2希望 私立(フリー-受験)

※第2希望は安全圏の高校を選択することが大切

④第1希望 公立のみ

※合格可能性の高い公立高校を選択する必要あり

受験パターン

P16参照



- ⑤ 第1希望 私立(単願推薦)
第2希望 公立(安全圏で、
単願で合格の場合は受検しません)
- ⑥ 第1希望 私立(フリー受験
or 第一希望優遇)
第2希望 私立(併願推薦)
- ※併願推薦で、第1希望は公立に限る
との制限のある私立もあります。



- ⑦ 第1希望 私立(フリー受験)
- 第2希望 私立(フリー受験)
- 第3希望 私立(フリー受験)

記念受験や実績報告のための受験はおススメしません。通学する気持ちのある学校を受験してください。



- ① 第3回進路希望調査
- ② 調査書記載内容確認票
- ③ 入試相談依頼書 (3回)
- ④ 出願手続願

重要書類①



○第3回進路希望調査

10月20日（金）配付

10月26日（木）提出

併願校の決定、
最低でもパターン分け。

重要書類②



○調査書記載内容確認書

1 1月10日 配付

担任作業終了後、記載内容を確認

これを3往復くらしします。

私立の記載 1 1月末まで

公立の記載 1 2月末まで

重要書類③④



○入試相談依頼書 11月24日(金)提出

○出願手続願

11月中旬 配付・説明

11月27日(月) 提出

※入試相談日程予約開始

12月15日(金) 入試相談

12月中旬 出願開始

今後の予定 11月

P17参照



7・8日(火・水)

総合テスト

→公立調査書用の評定が
決定してくる

○入試相談を考えた

受験校の決定

公立調査書用評定



3年生前期評定

(10月20日通知表)

+

3年後期11月中旬までの評定

(後期の仮評定)

||

3年生調査書用評定

公立調査書用評定



1 1月下旬に出ます。

私立高校の推薦基準を超えたのかが、この時点で分かります。

→推薦制度を利用する
私立高校の確定

調査書の期限上、正式な3年の学年評定とは異なる評定が高校側にいきます。

今後の予定 11月② P17参照



10日(金) 調査書記載内容確認書
配付 (記載内容確認)

22・24日(水・金)

学年進路検討会
(学年職員で、生徒一人一人の
受験パターンを確認する。)

今後の予定 11月③ P17参照



16日(木)

調査書記載内容確認書回収

21日(火)～

3年公立用評定口頭開示

24日(金)入試相談依頼書提出

28日(火)全校進路検討会

(私立高校の推薦を頂く会議)

今後の予定 12月① P17参照



1日(金) 入試相談予約開始
上旬

調査書記載内容確認書配付

(公立用評定・欠席の確認) → 私立用
調査書
完成

11月27日(月)

出願手続願 提出

入試相談用紙作成のため生徒早帰り

今後の予定 12月② P17参照



15日(金) 入試相談開始

18日(月)以降～

入試相談結果 **口頭伝達**
入試相談の結果により
受験校が変わる生徒も。

今後の予定 12月③ P17参照



20日(水)

私立高校出願書類
とりまとめ

22日(金)

私立高校用調査書等配付

23日以降、

受験校に合わせて各自出願

今後の予定 1月

P17参照



中旬 公立用調査書記載内容確認
→ 12月末までの情報

10・11日(水・木)

第5回総合テスト (最終)

→ 公立高校の見極め

17日(水) 県内私立前期入試

22日(月) 都内私立前期入試

今後の予定 2月

P17参照



6日(火) 県立出願

14日(水) 志願・希望変更

20日(火) 検査1日目

21日(水) 検査2日目

22日(木) 学年日課開始

29日(木) 追検査

今後の予定 3月



4日(月) 県立高校発表

7日(木) 県立2次試験出願

11日(月) 卒業式予行練習

12日(火) 県立2次検査

13日(水) 卒業式

14日(木) 県立2次発表

高校入学まで



高校の入学式で校長先生から
「入学を許可します」と言われる
までは「入学許可**候補者**」です。

「自分の入試が終われば、
後は知らん」
なんて、心がさみしい。

おねがい①



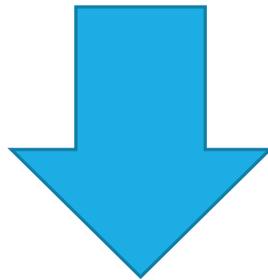
- 本人に任せます
- どこが良いですか
- 入れる高校はどこですか

- 生活習慣（食事・睡眠）

おねがい②



- 本人の見通し
- 保護者の見通し
- 情報の獲得



- 意見の擦り合わせ⇒納得

感謝



ご静聴ありがとうございました。
ございました。



受験は団体戦！
つまり
WIN
BY
ALL！